

ミナカジ

～ 家族みんなで家事～



名前：石橋孝太郎*, 小幡和樹**, 山田大稀** 学校：和歌山大学*, 和歌山大学大学院**

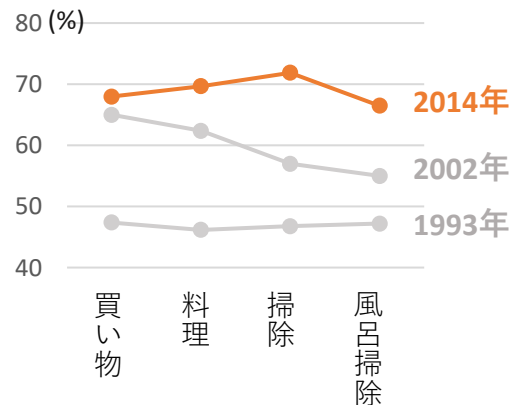
家事のTO DOリスト共有により、家庭の「平和」を保つアプリ

家族との共同生活の中で、自分だけが家事に従事していると感じる状況は、主婦の健康、メンタルヘルスに大きく影響すると考えられます。そこで、私たちは家事の共有、記録により、家族みんなで楽しく家事お手伝いを行い、家庭内の平和を保つアプリ「ミナカジ」を提案します。

背景

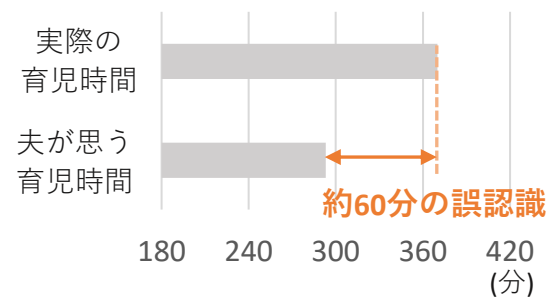
01. 家事をしない子供の増加

家事をほとんどしない子供（中学生以上）の割合 [1]



02. 夫の育児時間の誤認識

一日の妻の実際の育児時間と夫が思う妻の育児時間の比較 [2]



見えてくる社会課題と解決案

図01では、中学生以上の家事お手伝いをしない子供の増加がみられました。このデータは2014年までのデータですが、進学のための塾や部活動、アルバイト等で忙しくなっている子供の現状から、**2023年現在も家事お手伝いをしない子供が多い**と考えました。また、図02において、**夫が思う育児時間と実際の育児時間との認識のずれがある**ことが判明しました。加えて、参考資料[2]において、アンケート対象者1500人の女性の約4割が「もっと夫に家事を手伝ってほしい」という回答をした。無視できない割合の女性が、**現状の家事の割り振りに不満を持っている**ことが判明しました。

以上のような家事の実態では、妻の負担が大きく、メンタルヘルスへの悪影響、それによる家庭の不仲、つまり家庭の「平和」が脅かされる状況に発展することが考えました。

そこで私たちは、**家事のTO DOリストの共有による、夫と子供のお手伝いの増加を促し、個人の家事に対する不満を和らげるアプリ「ミナカジ」**を提案します。

[1] <https://tg-uchi.jp/topics/5141>

[2] https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/danjo/wlb_top/files/0000001633/tyousakekka.pdf

「ミナカジ」の主な利用の流れ



「ミナカジ」の主な機能



01 「誰が」を可視化

個人のアイコンをタスクごとに付けることで、誰がその家事を行ったかを可視化出来ます。

02 ★マークで優先度を表す

特に優先順位の高いタスクには★マークを付け、緊急のタスクを伝えることが出来ます。

03 時系列で表示

タスクは+ボタンで簡単に追加することができ、朝・昼・夕・夜と時系列にそって表示されます。

「ミナカジ」はここが違う！

ランキング機能により楽しみながらお手伝い



「ミナカジ」独自の機能は毎月末のお手伝いの数に応じたランキング機能です。ユーザはランキング機能により遊び心、競争心を刺激され、楽しみながら、お手伝いに取り組みます。

この機能の応用例として、子供の順位が夫を超えた月は、夫のポケットマネーから子供に特別なお小遣いを与えるなどの指標としての例が挙げられます。これにより、普段家事をしない、子供と夫の積極的なお手伝いへの参加を促します。

「ミナカジ」により得られる主なメリット

想定されるユーザそれぞれのメリット

特に頼まず、お手伝いをしてくれてうれしい

相手の頑張りがみれて、自分も頑張れる
子供との会話のきっかけになる

お手伝いが記録に残りお小遣いの交渉ができる

主に家事をする人

共働きの人

子供